

県高校総合文化祭の書道展 掲載記事

最優秀賞受賞 3-5 片桐 由佳さん

躍動感ある高校生の書

各務原 県総文祭展始まる

県高校総合文化祭の書道展が十九日、各務原市産業文化センターで始まった。高校の書道部の生徒らによる個人作品百八十七点と、複数の生徒で仕上げた共同作品八点が並ぶ。二十三日まで。

個人作品部門の最優秀賞には五人が選ばれた。このうち大垣工業高三年の片桐由佳さん(こもは、東大寺正倉院の御物である光明皇后の「業毅論」を力強い筆遣いでしたためた。共同作品部門の最優秀賞には、岐南工業高校が選ばれた。

県高校文化連盟書道



最優秀賞に輝いた大垣工業高3年の片桐さんの作品(右手前)＝各務原市産業文化センターで

部会の筑間敏博専門部「じてもらえたら」と話長(西)は「作品を通して、高校生ならではの躍動感や若々しさを感(宮崎正嗣)このほかの個人作品部

門の最優秀賞は次の皆さん
村木友香(岐阜2) 島部
亜結実(県岐阜商2) 岡田
那美(岐阜農林2) 神谷優
月(大垣西2)